

◆日本共産党は今年創立104年。暮らし・平和・人権

休日当番病・医院



2月8日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 同樹会苦小牧病院 新中野町 36-1221
- ◆歯科 三輪歯科医院 本町 32-3247

2月11日(水) <祝日>

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 とよた腎泌尿器科クリニック 元中野町 31-2000
- ◆歯科 新生台歯科クリニック 三光町 33-8820

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



2月25日(水) 渡辺達生弁護士

(定員になり次第締め切りです) 日本共産党苦小牧地区委員会 苦小牧市見山町2-2-6 申込 96-5002

しんぶん赤旗読者のための 親身な相談で定評

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086

日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>

日本共産党市議会議員ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>

eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

紙前参院議員が苦小牧街頭演説 高市政権の姿勢を批判 軍拡と社会保障削減の政治に歯止めかけよう



日本共産党の紙智子前参院議員が1月28日、苦小牧市を訪れ、市内3カ所所で街頭演説を行いました。山手町の高齢者住宅前で紙前議員は、「高市政権に選挙でお墨付きを与えると、なんでもやりたいことをやらせてしまう。安保3文書の改定や軍事費の拡大など、戦争する国へ加速させようとしていきます。かつて農林予算が3兆円の時、軍事費は2兆円だったのに、農林予算は上がらず今や9兆円までなっています。ランプ

米大統領への要求を受け入れ、さらなる要求がされています。武器や弾薬をたくさん買っているのか。介護や医療施設の開鎖や倒産が増えているのに、自民党政治は、社会保障費を4兆円削減しようとしています。こんな政治にノーと言います。歯止めをかけるのは日本共産党だけです」と訴えました。

「新しい政党『中道改革連合』ができました。政権を離脱した公明党と立憲民主党が一緒になったもので、限りなく自民党に近づいています。端的に示すのが、立憲が憲法違反としていた安保法制を合憲と認めてしまったこととす」と指摘。『中道』だからと言つても、よりましではなく、危ないと思う。うっかり見過ごしていたら大変な目に遭いそうです。道理を貫くべし、日本共産党が大きく変わることが大事です」と強調しました。

今春3月にむかわ町議選(定数11)、4月に安平町議選(定数12)が行われます。むかわ町議選は、2期連続して無投票が続く、今回選挙が行われると2議席減のなかで12年ぶりとなります。日本共産党は現職の北村修、大松紀美子両議員を擁立し、たたかいます。



暮らし守ると大松、北村、三浦の各町議

安平町議選は、現職の三浦恵美子議員を擁立して3期目を目指します。両町は、2018年9月の胆振東部地震から7年が経過し、復興も終わったとされながら、新たなまちづくり

再建に取り組まれています。むかわ町では、「まちなか再生計画」が議論になっていきます。財源的計画の甘さや、人口が減少するなかでの今後につなげるまちづくりが正念場となっています。安平町では、地域防災計画が見直され、誰一人取り残さない被災者支援が課題となっています。町政に対して日本共産党は、町民に寄りそい、住民の苦難と解決に全力をあげていくとしています。

希望のまちづくりに必要な共産党 今春むかわ・安平町議選 現有議席確保へ

三浦町議は、「政府の悪政が降ってきている感じがです。物価も平和も国の政治も自分のこととして考えていかなければならない。病院がなくなり、入院も救急もなくなり、命落とす人も出ています。住民運動起こし、病院を復活させたい。町民の命と暮らし、平和を守るために、努力したい」と強調しました。

住宅の入居者が窓や玄関先までできて聞き入り、向かいにある病院の関係者らもかけつけ大きな拍手を送っていました。紙前議員も声援に応えながら握手をしあっています。

北村町議は、「50代の農家を営む人は、人口減つてむかわ町はなくなるのではないかと心配しています。確かに人口減で、支持者の3分の1がむかわからいなくなっています。12年ぶりの選挙で、厳しいたたかひになります。今どこまで頑張るかにかかっており、全力をあげたい」と語りました。

2月8日衆院選投票日

- 制度解説
- 衆院選挙は2回投票します
- ①最初は、小選挙区選挙で候補者名で投票します
 - ②次は、比例代表選挙で政党名で投票します(候補者名で書くくと無効です)

核兵器禁止条約の批准を 大軍拡反対! 外交で平和を 日本共産党

保険料下げるとし 命削る

維新、国民民主の社会保障改革の本質

日本維新の会や国民民主党が「社会保障改革」「社会保険料を下げる」をアピールしています。社会保険料の軽減は国民の切実な要求ですが、彼らの言う「改革」は、保険料を下げると称して、国民の負担を重くして、医療を受けるのを妨げ、命を削る道です。

維新は、自公維の3党合意(2025年2月)に国民医療費の4兆円削減を盛り込ませたことを成果だと誇り、実行のアクセルになると強調しています。

維新が主張する改革は、高額療養費制度の利用条件や範囲、負担上限の見直し ● 同等の効能の市販薬がある医薬品(OTC類似薬)の保険外し ● 高齢者窓口負担を1割から3割に ● 診療報酬の削減 ● 医療従事者の人件費「適正化」 ● 削減の断行 ● 病床の削減一です。

消費税減税消え 戦争準備叫ぶ

高市首相の街頭演説

外交努力語らず

全国各地で行われている高市首相の街頭演説から、国民生活よりも強権的な国家を目指す姿勢が浮き彫りになっています。

突出しているのが、「戦争準備」とも言える主張です。高市首相は、大軍拡の指針である安保3文書の年内改定を強調するとともに、ロシアによるウクライナ侵略戦争にふ

れ、「長い長い戦争が続いている」と指摘し、「いったん事(戦争)が起きたら長期戦になる可能性がある。自分の国を守るためにも、継続能力をもっと強くしなきゃいけない」と繰り返しています。



「赤旗」1月29日号から

選挙区別開票率

用いた

の崩壊です。

ことに大病や事故にあった時などの支えである高額療養費制度の改悪は全世代の命と安心を直撃します。がんなどの長期治療で高額な医療費を負う患者の命を脅かします。日本共産党は、医療を立て直しつつ、保険料を下げるために、医療財政の国の負担率引き上げを求めています。財源は、大企業や富裕層への優遇税制は正や大軍拡の中止でまかないます。そこに切り込むことこそ本当の改革です。

生業と暮らしを守るために

消費税減税 インボイス廃止 日本共産党

に備えると言う主張は、無責任そのものです。

日本版CIAと言える「インテリジェンス機関」の創設も主張。外国人政策も繰り返して強調し、「不法滞在者は出ていってもらう」「社会保険料にタダ乗りしようとする人はお帰りいただく」という「社会保険料」(31日)。日本国内で違法行為があれば、国籍の有無にかかわらず、たすのは当然です。ことさらに「外国人」を強調するのは、排外主義そのものです。

原発推進も強調。安定的な電力供給のために原子力発電所の再稼働が必要だと言います。日本国旗を破つたり、損なうことを罪とする国旗損壊の創設も初めて言及しています。(27日、28日)

一方で、公示前には語っていた2年間限定の食品消費税ゼロは、公示後完全に消えました。裏金議員を候補者として44人も公認しておきながら政治とカネについて語りませ

ん。統一協会の「TM特別報告」と題する政界工作報告には「高市早苗」の名前が32回も登場しています。首相には、説明責任があるはずですが、この問題も一切語っていません。



「確かな野党」 日本共産党

こんにちは 小野寺ゆきえです

通常国会の冒頭解散は59年ぶりで、新年度の大事な予算を決める場である通常国会を先送りするなんて、無責任極まりありません。高市首相は「補正予算で万全の体制を整えた」と力説しましたが、軍事費まで計上したとんでもない補正予算です。

首相は、「高市早苗が内閣総理大臣でよいのかどうか、国民に決めてもらう」とのべました。しかし高市首相自ら違法企業献金を受け取っていたことや、統一協会から支援を受けていたことを国会で追及されることを恐れた《自己都合解散》です。

解散から投票日まで戦後最速です。苦小牧の選挙管理委員会の職員さんに話を聞くと「超」がつく忙し

さで、「選挙が終わるまで徹夜覚悟です。休みも取れません」という状態でした。でも「市民のみなさんが無事に投票できるように、滞りなく準備を進めています」と強い責任感で業務にあたっていました。

今回の選挙はあらゆる人に迷惑な選挙です。投票入場券(ハガキ)は遅れ、本人確認が大変。立候補者にしても選挙実務が山ほどあり、相当な忙しさです。しかも首相は政党選択の選挙ではなく、「自分を選んでもらう」と、自分が大統領にでもなったようなトーンでカン発言です。何のための選挙なのでしょう。

日本共産党の政策が争点になっていきます。一貫してブレない共産党は、自民党と高市政権に対抗できる《確かな野党》ではないでしょうか。日本共産党の議席は小さいけれど、高市首相の高い支持率にひるまず、暮らしと平和の旗を掲げ、あれこれと不満の多い選挙ですが、受けて立つしかありません。

小野寺幸恵(おののら・ゆきえ) 日本共産党 苦小牧市議会議員

赤旗日刊紙を友として

「非核三原則を守り、実行を求める署名」に「協力をお願いします。」

購読をお勧めします

月3497円

1月29日、30日



午年に躍進を誓う市議団

小野寺幸恵(おののら・ゆきえ) 日本共産党 苦小牧市議会議員